

## 2017年6月から2019年8月までに検査時80歳以上で 肺癌が疑われ呼吸器内科で気管支鏡検査が施行された方へ

当センターでは下記の臨床研究を実施しています。

この研究の詳細についてお知りになりたい方は、問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。

なお、この研究の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の情報等をこの研究に使用してほしいと思われた場合にも、問い合わせ担当者までその旨をご連絡下さい。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

### ●研究の名称

80歳以上の高齢者気管支鏡における仮想気管支鏡と Rapid on-site evaluation の有用性の検討

### ●研究の対象

2017年6月～2019年8月までに検査時80歳以上で、肺癌が疑われ当院呼吸器内科で気管支鏡検査が施行された方

### ●研究期間

2019年9月から2022年3月まで

### ●研究の目的

肺癌の患者数は年々増加傾向にあり、日本における癌の死因の中でも1位を占めるようになりました。肺癌の診断においては、気管支鏡検査などを用いた生検が基本的には必要ですが、呼吸器領域における各種生検手技の中でも、気管支鏡検査は、比較的患者さんの体への負担が軽いとされているものの、80歳以上のご高齢の患者さんでは、気管支鏡検査に伴う合併症のリスクが高く、学会などでも「気管支鏡検査の実施は慎重に検討する」ように提言されております。近年、気管支鏡検査の実施前に胸部CTのデータを使用した仮想気管支鏡画像の作成や気管支鏡検査実施中の迅速細胞診(ROSE)の実施が、患者さんへの検査に伴う体への負担を軽減する方法として注目を集めております。気管支鏡検査の実施に悩む80歳以上の肺癌疑いの患者さんで、仮想気管支鏡とROSEを導入して気管支鏡検査を実施することが、患者さんにとって有益かどうか評価し、今後の当科での気管支鏡検査の体制を整えるため、本研究を実施いたします。

### ●研究の方法

通常の診療の中で得られる診療情報や臨床検査の情報を、個人を特定できない形で収集させていただきます。

### ●研究に使用する試料・情報

年齢、性別、各種血液データ、気管支鏡検査の実施状況、病理診断や臨床診断、診断後の経過、治療内容、転帰など

●資料の入手または閲覧、開示

この臨床研究の計画や方法については、あなたのご希望に応じてあなた自身の資料の要求または閲覧ができます。あなたご自分の研究結果を知りたいと希望される場合は、研究担当者にその旨をお伝えいただければ、ほかの研究対象者に不利益が及ばない範囲内で、あなた自身にあなたの結果をお伝えします。希望された資料が他の研究対象者の個人情報を含む場合には、資料の提供または閲覧できません。

●お問い合わせ先

〒173-0015 東京都板橋区栄町 35 番 2 号

東京都健康長寿医療センター

呼吸器内科 石橋昌幸

連絡先：03-3964-1141(平日 9:00～17:00)